

香曾我部義則先生の今月のカルテ 23

慢性痛とペインクリニック

痛みや病気に伴う不快な症状を治療するペインクリニック。その治療法について、梶木病院麻酔科・ペインクリニック科の香曾我部義則先生が、分かりやすく説明してくれるこのコラム。第23回のカルテは、交感神経ブロックの一つ、星状神経節ブロックについてです。

(V G)、星状神経節 (S G) があります。

星状神経節は下頸神経節と第一胸神経節と第二胸神経節が一つの固まり

になったもので、およそ長さ2・5cm、幅1cm、厚さ0・5cmの大きさで

顔面・頭部・頸部・肩…の血管拡張と血流増加

さまざまな症状の治療に有効な星状神経ブロック

前回1月28日号で、交感神経の緊張が痛みやまひ、しびれなどの症状を生じさせ、交感神経をブロックすることで、神経の緊張を抑え血管を拡張し血流を増加させる症状の改善が期待できるお話をしました。

今回は交感神経ブロックの一つである星状神経節ブロック (S G) に、上頸神経節 (S C G)、中頸神経節 (M C G)、す。通常 S G B は第6頸椎 (つい) 骨動脈神経節 椎か第7頸椎の高さで注

射を行います。注射には、キシロカインあるいはメヒバカインという局所麻酔薬を5ml程度使います。解剖から考えるとこの位置は中頸神経節や椎骨動脈神経節の位置になり理論的には星状神経節ブロックではないことになりました。

しかし頸椎6・7の高さで注射された局所麻酔薬は上下に広がり星状神経節を含め頸部の交感神経全体をブロックするようになります。それでこの部位でのブロックを星状神経節ブロックと呼んでいます。ブロックすると顔面・頭部・頸部・肩・上肢の血管拡張と血流増加が生じます。

S G B の適応は痛みだけではなく多岐にわたっています。元総理大臣の田中角栄氏が顔面神経まひになり、この S G B 治療で改善したことからよ

く知られるようになりました。そのためか特に日本では、さまざまな病気に試されてきました。現在ペインクリニック領域で一般的に行われている疾患を表に示しています。ただし、これらの疾患に対する S G B の有効性について客観的な評価は残念ながら確立されるまでには至っていません。

注射での治療ができない患者さんには、レーザーや近赤外線などによる光線療法が S G B の代わりに行われるようになっていきます。

今回は S G B 療法が用いられる顔面神経まひについて説明しましょう。

次回 S G B 療法が用いられる顔面神経まひについて説明しましょう。

次回 S G B 療法が用いられる顔面神経まひについて説明しましょう。

次回 S G B 療法が用いられる顔面神経まひについて説明しましょう。

次回 S G B 療法が用いられる顔面神経まひについて説明しましょう。

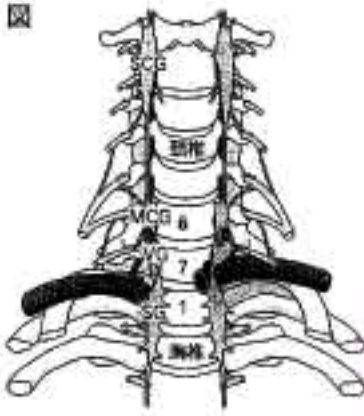
次回 S G B 療法が用いられる顔面神経まひについて説明しましょう。

次回 S G B 療法が用いられる顔面神経まひについて説明しましょう。

次回 S G B 療法が用いられる顔面神経まひについて説明しましょう。

次回 S G B 療法が用いられる顔面神経まひについて説明しましょう。

■プロフィール
こうそかべ・よしのり
昭和54年3月岡山大学医学部卒業後、同大学麻酔科・蘇生科講師、岡山労災病院麻酔科第一部長を経て平成16年4月1日から現職。日本麻酔学会専門医。日本ペインクリニック学会認定医。現在日本麻酔学会、日本ペインクリニック学会、日本慢性疼痛学会、国際疼痛学会などに所属



- 【適応症】
①痛み 帯状疱疹痛、顔面痛、頭痛、頸椎捻挫、五十肩、肩痛、肩こり、上肢痛、カウザルギー
②麻痺 顔面神経麻痺
③循環障害 レイノー症候群、閉塞性動脈硬化症
その他、自律神経失調症、突発性難聴、多汗症、耳鳴、眼科的疾患など

◆
■メモ 問い合わせ先
☎(293) 3355代
梶木病院(西花尻)

※このコラムは毎月第4週目に掲載しています